

日経STOCKリーグとは

2000年よりスタートした、日本経済新聞社が主催する、中・高・大学生を対象とした株式学習コンテストです。延べ6万人以上が株式を通じて生きた経済を学びました。学生は3~5人のチームで世界・日本・地域の未来を想像して個性豊かな投資テーマを決め、応援したい会社のポートフォリオを構築していきます。自ら考え、行動しながら学んだ学習の成果をレポートにまとめます。今回は全国から1,599チーム、6,398名が参加しました。

※写真は、日経STOCKリーグに参加していた学生のみさんです。



先生はあつちん、家族とも相談しながら学習もがんばる。

インターネットや新聞で、できる限り情報を集めたが見落としたものがあるかもしれない。(高校生)

企業訪問もしたのだから、就職活動中も役に立つ。(大学生)

企業研究にも役立ち、とてもやりがいがあった。

日本列島は、世界に目を向けよう。(高校生)

仲間と一緒に企業の方針や理念などを初め話し合った。(高校生)

初めて株式の勉強をして、日本の経済状況がよく分かり、企業がどのような対処をしているのかも分かってきた。(高校生)

みんなで時間をかけて決めた今回のテーマは、とてもよいテーマだと思う。(高校生)

四国の企業や、地元の名産品、知元の長を応援しよう。(高校生)

変革の年、私たちは経済学習で変わりたい。

経済から生きる力をもらった。

表彰式&記念シンポジウム
参加者募集

中・高・大学生のための株式学習コンテスト

第10回日経STOCKリーグ

表彰式&記念シンポジウム

日時: 3月14日(日) 13:00-16:00 (仮) 会場: 日経ホール (東京・大手町) 参加費: 無料

審査員によるパネルディスカッション
「金融・経済教育の未来」

パネリスト
三原淳雄氏 経済評論家
渋谷アンドカンパニー代表取締役
モンス投信、会長

コディネーター
野村證券 経営役
金融経済研究所
チーフリサーチオフィサー

横 徳子氏 ほか

第10回を記念して「NOMURA Award (特別協賛社賞)」も授与。これまで日経STOCKリーグを通じて、金融・経済教育に長く取り組まれた指導教諭(教官)の方々を表彰します。

若者たちの経済学習の成果をお見せします。レポート審査により選出された最優秀賞をはじめ各賞の発表。さらに経済界のプロフェッショナルが、経済教育のあり方について、熱く鋭く語り合います。

参加お申し込み方法 **締め切り 3月8日(月) 必着**
<http://www.adnet.jp/nikkei/sl/>

参加ご希望の方は、インターネットで上記サイトにアクセスいただき、お申し込みください。応募者多数の場合は抽選のうえ、「参加証」をお送りします。お送りいただいた個人情報はシンポジウム事務局で適切に管理し、ご本人の承諾なく、本シンポジウムのご案内以外には使用いたしません。日経STOCKリーグ事務局 | FAX.03-3545-6993 TEL.03-3545-9823 経済学習サイト [man@bow](http://manabow.com) (学ぼう)

<http://manabow.com>

今、なぜ金融・経済教育が必要なのか。その答えが、ここにあります。

中・高・大学生のための
株式学習コンテスト

〔第10回〕

日経STOCKリーグ 表彰式&記念シンポジウム

若者たちの経済学習の成果をお見せします。

レポート審査により選出された最優秀賞をはじめ各賞の発表。

さらに経済界のプロフェッショナルが、経済教育のあり方について、熱く鋭く語り合います。

審査員によるパネルディスカッション

「金融・経済教育の未来」

パネリスト

三原淳雄氏
経済評論家

洪澤 健氏
シブサワ アンド カンパニー
代表取締役
コモンズ投信・会長

海津政信氏
野村証券 経営役
金融経済研究所
チーフリサーチオフィサー

コーディネーター

榎 徳子氏

ほか

第10回を記念して「**NOMURA Award**(特別協賛社賞)」も授与。

これまで日経STOCKリーグを通じて、
金融・経済教育に長く取り組まれた指導教諭(教官)の方々を表彰します。

日経STOCKリーグとは

2000年よりスタートした、日本経済新聞社が主催する、中・高・大学生を対象とした金融・
経済学習コンテストです。参加した若者たちは、日本の未来を想像して、投資テーマを
決め、応援したい会社を考えポートフォリオを構築、その成果をレポートにまとめます。

経済学習サイト [man@bow](http://manabow.com) (学ぼう)

<http://manabow.com>

参加者募集 3/14日

時間 ▶ 13:00~16:00 (仮)

会場 ▶ 日経ホール (東京・大手町)

参加費無料

参加お申し込み方法 [締め切り3月8日(月)必着]

<http://www.adnet.jp/nikkei/sl/>

参加ご希望の方は、インターネットで上記サイトに
アクセスいただき、お申し込みください。

応募者多数の場合は抽選のうえ、「参加証」をお送りします。

※お送りいただいた個人情報はシンポジウム事務局で適切に管理し、ご本人の承諾なく、
本シンポジウムのご案内以外には使用いたしません。

日経STOCKリーグ事務局 | TEL.03-3545-9823
FAX.03-3545-6993

日経STOCKリーグ

主催：日本経済新聞社

特別協賛：

野村グループ

後援：

文部科学省、金融庁、日本証券業協会、東京証券取引所グループ、全国公民科・
社会科教育研究会、財団法人 日本私学教育研究所、財団法人 全国商業高等学校協会

協賛：JTB法人東京

生きた経済にふれた、全国6,398名の若者たち。

2000年よりスタートした、日本経済新聞社が主催する、中・高・大学生を対象とした株式学習コンテストです。延べ6万人以上が株式を通じて生きた経済を学びました。学生は3~5人のチームで世界・日本・地域の未来を想像して個性豊かな投資テーマを決め、応援したい会社のポートフォリオを構築してきました。そして自ら考え、行動しながら学んだ学習の成果をレポートにまとめました。今回は全国から1,599チーム、6,398名が参加しました。



最優秀賞

チーム全員を
米国研修旅行に
ご招待

**金融担当
大臣賞**

大分県賞詞(県民栄誉賞)受賞

富国強徳

~「資本主導」による
日本活性化投資への挑戦~

大分県立情報科学高等学校3年

メンバー: 佐久間 士さん、小野 魁斗さん、大山 唯依さん、齋藤 颯哉さん
担当教員: 衛藤 準氏

**部門賞
中学部門**

地方から日本を元気にしよう!
~地方を応援する地方(住民)と
密接に関わっている企業~

東京都立桜修館
中等教育学校3年

メンバー: 橋本 一期さん、
中野 亮介さん、
森 真沙人さん、
八木 茂樹さん、
担当教員: 高橋 勝也氏

**部門賞
高校部門**

eco da Japan
~広がるエコスプラウト~

静岡市立商業
高等学校3年

メンバー: 黒田 紗貴子さん、
森 章子さん、
望月 美佳さん、
担当教員: 大澤 利恵氏

**部門賞
大学部門**

**モノづくり企業から
モノ語り企業へ**
~グローバル競争を勝ち抜く人口ボーナス
享受企業に投資せよ!~

一橋大学3年

メンバー: 宮原 宏史さん、
安藤 子 貴幸さん、
萩原 知祥さん、
李 偉さん、
担当教員: 加賀谷 哲之氏

**審査委員長講評
吉野 直行氏**

慶應義塾大学経済学部教授

アイデアにあふれ、自分の住む地域、国全体のことを考えた論文など、さまざまな力作が多かった。現場の企業を見て、ヒアリングやアンケート調査を実施し、単に頭の中だけで考えた投資でない点も素晴らしい。現在は、インターネットを通じて、地域の情報、世界の情報が集められる。汗を流して知り得た情報と合わせ、どんな景気の局面でも上手な金融投資ができる力を身に付け、世界に負けない金融経済分析と資産運用能力を身に付けていただきたい。

敢闘賞

- 静岡県立浜松西高等学校・中等部3年 **Only Oneを作り出す** ~次世代の技術を作る~
- 立教池袋高等学校3年 **Defensive Investment** ~守りの投資で2番底に備える~
- 横浜市立大学2・3年 **次世代エコ成長企業を探し出せ!** ~企業のエコ成長シナジーを見極める~

**審査委員
特別賞**

- フィールド・サーベイ賞 札幌市立平岡中央中学校3年 / おこせ!第二次産業革命 ~世界に広がる日本のEV~
- 三原賞 秋田市立秋田商業高等学校3年 / 人の一生~女性としてよりよく生きるために~
- オリジナリティ賞 慶應義塾大学1・2年 / 就活投資学のすゝめ
- 投資実践賞 一橋大学3年 / Agri Fund ~投資が開拓(ひら)く農業新時代~
- 三原賞 同志社大学3年 / 来る!!!!肉食女子企業の時代~草食男子に日本は救えない!?!?~

**NOMURA
Award**

第10回を記念して「**NOMURA Award (特別協賛社賞)**」も授与。これまで日経STOCKリーグを通じて、金融・経済教育に長く取り組まれた指導教諭(教官)の方々を野村グループより表彰しました。

- 立教池袋中学校・高等学校 内田芳宏 教諭
- 札幌市立平岡中央中学校 清水 颯史 教諭
- 奈良県立奈良朱雀高等学校 石田 恵信 教諭
- 新潟県立村上桜ヶ丘 高等学校 梅田均 教諭
- 京北学園白山 高等学校 黒羽清美 教諭
- 慶應義塾 大学 経済学部 秋山裕准 教授
- 一橋 大学 商学部 加賀谷哲之 教授
- 同志社 大学 経済学部 新聞三希代 教授



時をこえて 夢をつなぐ

日経STOCKリーグ2010

日経STOCKリーグに参加した学生たちの取引体験や、レポート作成風景を密着取材。経済というテーマに、体当たりしてゆく彼らの姿に、日本経済の将来が見えてきます。

日経CNBC ●4月30日(金) 21:00~21:30
放送日時 ●5月3日(祝・月) 12:00~12:30(再放送)
●5月5日(祝・水) 20:00~20:30(再放送)

審査員による「金融・経済教育の未来」



時間と直感味方に夢を実現してほしい 三原 淳雄氏

新興国の台頭やグリーン革命によって、新しい時代が始まろうとする過渡期のいま、若い人は本当にいい時代に生きている。新しいパラダイムに向かって市場は動く。どうい未来になるのかを想像し、望ましい方向に向かって行動するための礎となる感性を磨くべき。成功は直感に導かれることが多いからだ。10年後、20年後の世界を想像できれば、これから期待できる企業や新しい産業が生まれているのが見えてくる。投資機会を見いだす過程はとて楽しいものだ。

若い人には時間という強い味方がいる。リスクとリターンを早いうちに学び、直感を信じマーケットも味方に夢を実現してほしい。

いま動き出すことが重要 渋澤 健氏

30年を見据えた長期投資を心がけている。自分だけでなく大切な人たちが将来幸せに過ごせるように願っていることだ。短期投資では価格が重要だが長期では企業のバリューに投資する。いまは見えない潜在する価値を数値化し、仮説に基づいて運用する。正しい答えはないか時間を味方につけて最適化していくのが長期投資だと思う。膨大な借金を抱えマクロではいいシナリオを描きにくい日本。しかしミクロではたくさんの豊かな資源が眠っている。投資による直接金融が日本の発展の大きな担い手になる。ひとりでは何もできないが、大きな流れはひとりから始まる。未来のためにいまから動き出してほしい。

自立と競争を教える教育を 海津 政信氏

経済成長の軸が新興国に大きく移ろうとするいま、その成長を日本経済の成長にどう結び付けていくかが課題になっている。しかし日本では投資して企業の成長を支援することでリターンを生み、国も潤わずサイクルがうまく回っていない。「貯蓄から投資へ」の流れを再構築していくことが重要だと思う。

われわれもこの10年間、小学生から社会人まで幅広い年代への投資教育に取り組んでいるが、より一層力を入れていく。セーフティネットの議論も大切だが、自立なくして成長なしという原点を伝えていきたい。学校でも自立と競争を正當に位置づけ、挑戦する意義を若い人たちに教えてあげてほしい。

日経STOCKリーグのくわしい内容、受賞レポートの内容は、経済学習サイト man@bow(まなぼう)でご覧いただけます。

http://manabow.com

お問い合わせ 日経STOCKリーグ事務局 / TEL:03-3545-9823